

2021年3月期 第2四半期決算 カンファレンスコール資料

2020年10月28日

日本ライフライン株式会社

2021年3月期 第2四半期決算概要

常務取締役管理本部長

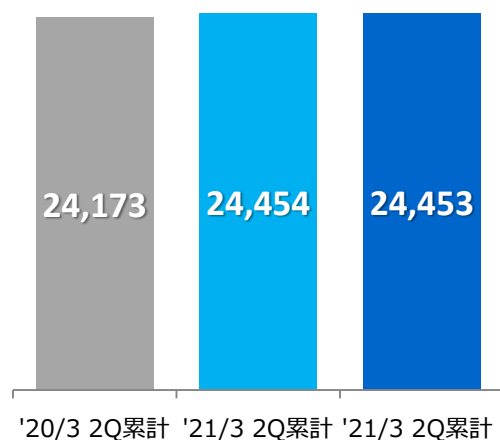
山田 健二

- 売上高は、新型コロナウイルスの拡大、保険償還価格引下げの影響があるも、リズムデバイスの寄与、6月以降の症例数の回復により対前年同期で増加
- 営業利益は、取引先変更に伴う費用が増加するも、営業活動の抑制による費用減により、対計画では大きく上回る
- 四半期純利益は、取引先への貸付金に対する貸倒引当金繰入により対前年同期で減少

売上高

対前年同期 +1.2%

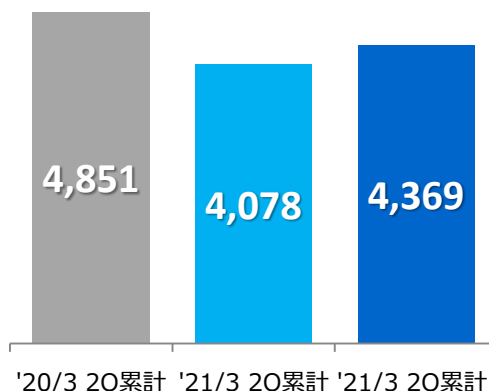
対計画 △0.0%



営業利益

対前年同期 △10.0%

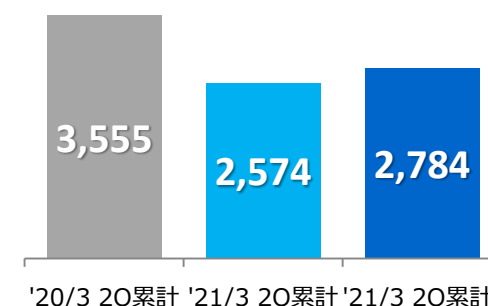
対計画 +7.1%



親会社株主に帰属する 四半期純利益

対前年同期 △21.7%

対計画 +8.2%



(百万円)

実績

計画

実績

実績

計画

実績

実績

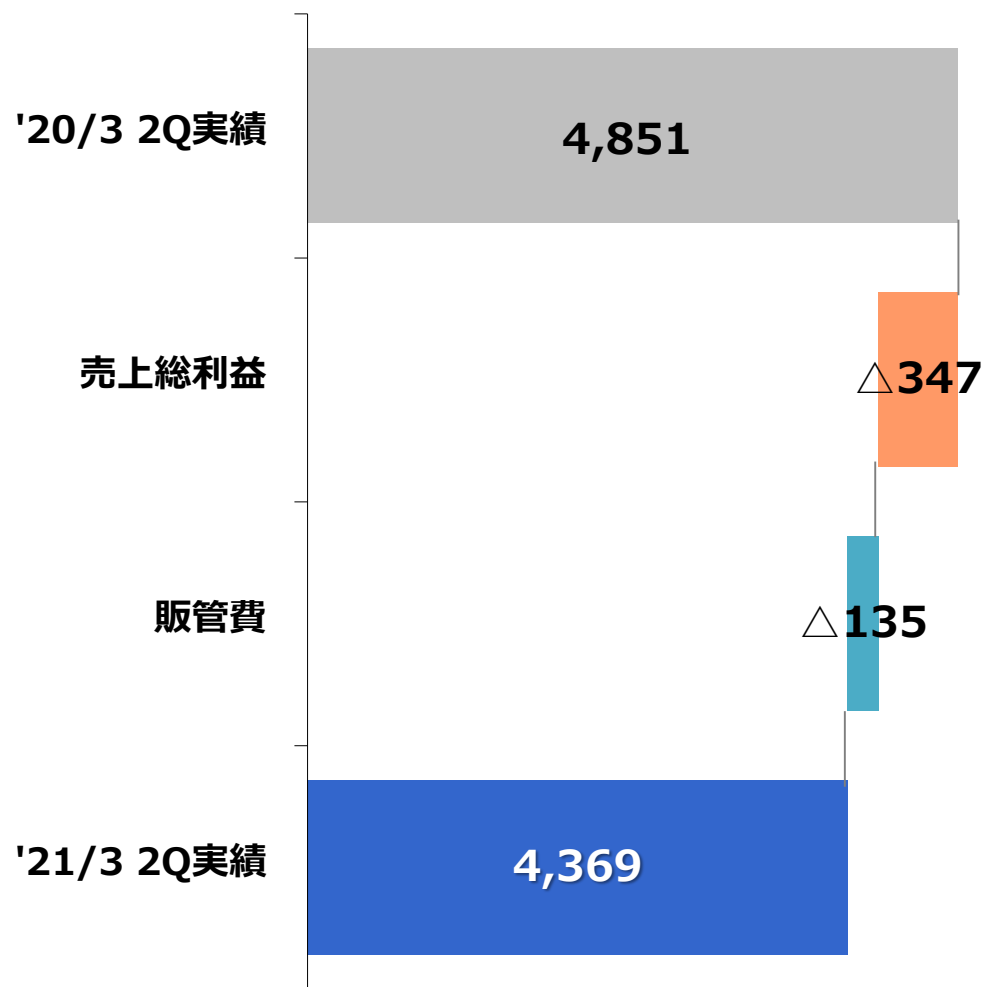
計画

実績

- 売上総利益率は、仕入商品の伸長、EP/アブレーションの売上高の減少により、自社製品比率が低下し、対前年同期で2.0pt低下
- 営業利益率は、対前年同期で2.1pt低下も、販管費抑制により対計画では1.2pt上回る

(百万円)	2020/3期 2Q 実績	2021/3期 2Q 計画	2021/3期 2Q 実績	対前年同期	対計画
売上高	24,173	24,454	24,453	+1.2%	△0.0%
売上総利益	13,833	13,397	13,485	△2.5%	+0.7%
売上総利益率	57.2%	54.8%	55.2%	△2.0pt	+0.4pt
営業利益	4,851	4,078	4,369	△10.0%	+7.1%
営業利益率	20.1%	16.7%	17.9%	△2.1pt	+1.2pt
経常利益	4,841	3,779	4,012	△17.1%	+6.2%
経常利益率	20.0%	15.5%	16.4%	△3.6pt	+0.9pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,555	2,574	2,784	△21.7%	+8.2%
四半期純利益率	14.7%	10.5%	11.4%	△3.3pt	+0.9pt

対前年同期 Δ 482百万円



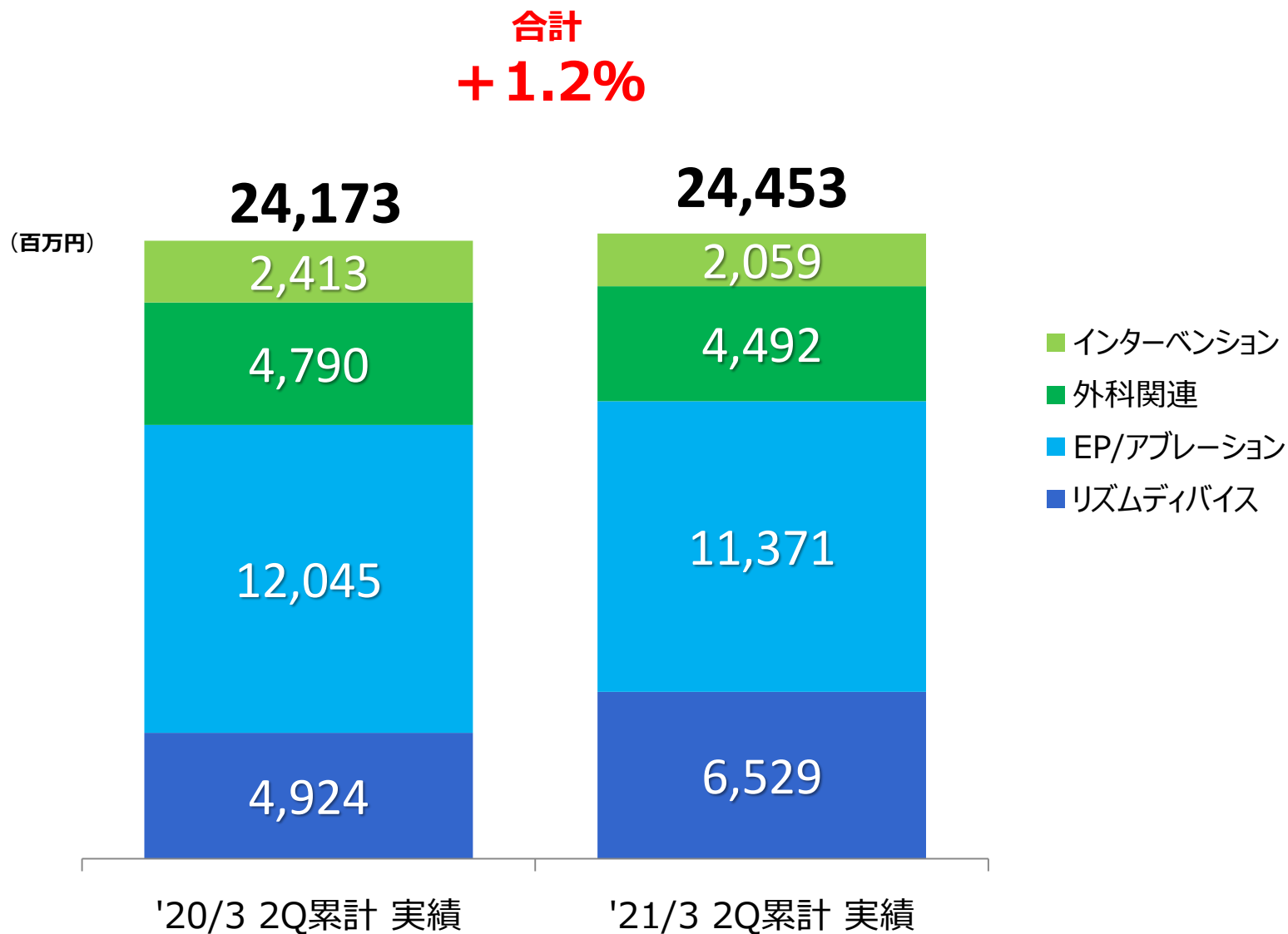
■ 売上総利益

- 【増加】・ 売上増 (+279)
- 【減少】・ 保険償還価格引下げ
- ・ 自社製品比率の低下

■ 販管費

- 【増加】・ 出向負担金 (+425)
- ・ 仕入契約金償却費 (+113)
- 【減少】・ 旅費交通費 (Δ 412)
- ・ 広告宣伝費 (Δ 134)
- ・ 研究開発費 (Δ 76) 等

(百万円)



リズムデバイス 対前年同期 +32.6%

- ペースメーカー関連は競争力のあるBSC社*商品が好調に推移
- ICD関連も、ICD、CRT-Dが販売数量を伸ばす
CRT-Dは長い電池寿命が認められ、2020年9月より新保険償還区分を取得
- 2020年10月よりCRT-Dに独自の患者モニタリングシステム機能「HeartLogic」が加わり、さらなる拡販に努める

EP/アブレーション 対前年同期 △5.6%

- AF（心房細動）のアブレーション治療の症例数が2020年6月より回復傾向
- 「BeeAT」、「RFニードル」は第2四半期会計期間(7-9月)としては対前年同期で販売数量が増加
- 「HeartLight」は新型コロナウイルスの影響により、新規施設への導入が進まず、販売数量が減少

*ボストン・サイエンティフィック社

外科関連 対前年同期 △6.2%

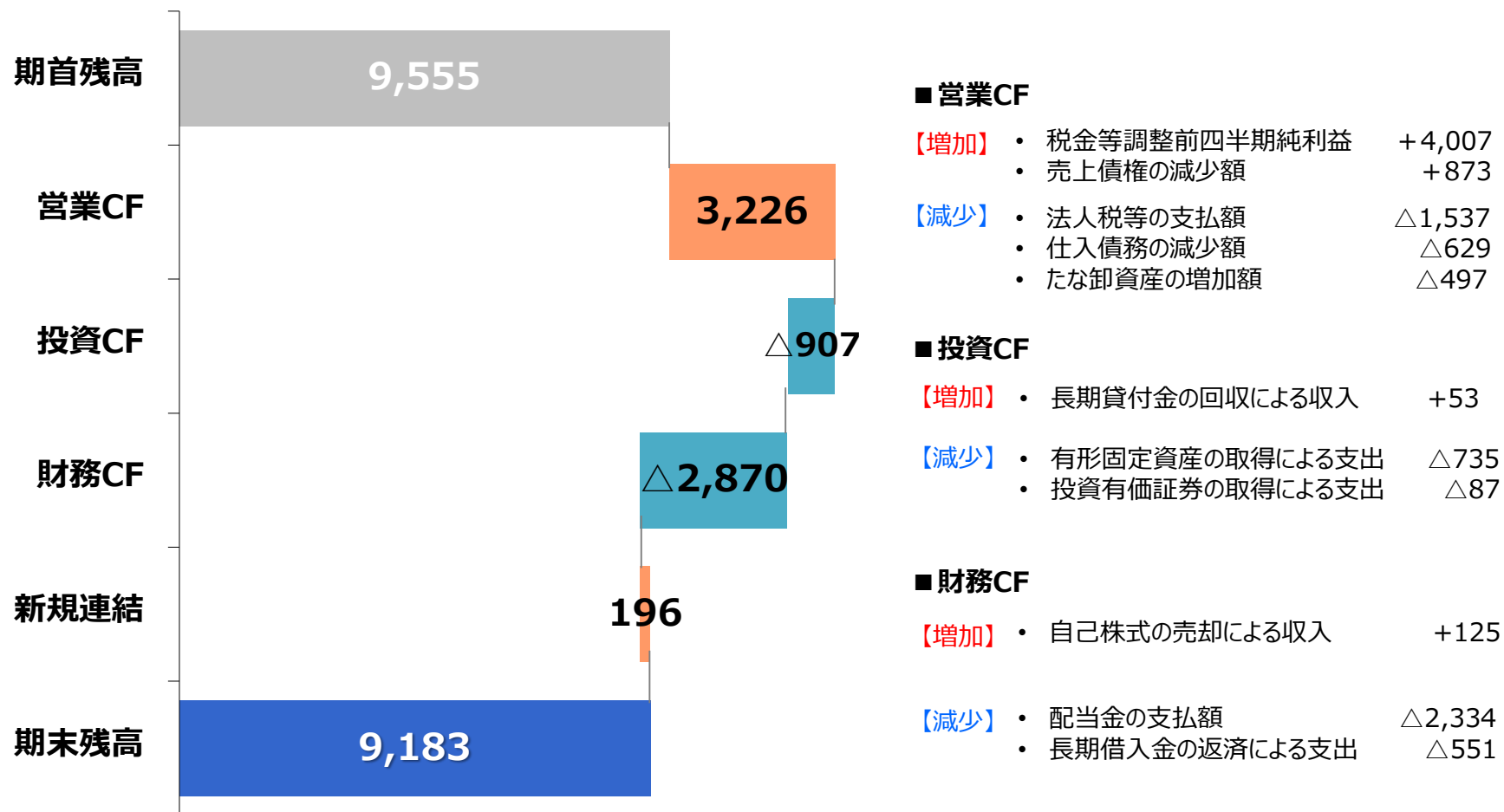
- 腹部用ステントグラフトの市場シェアが伸長し売上高が増加
- 治療時間の短縮化が求められるなか、低侵襲で効率的な治療に資するオープンステントグラフトの販売数量が対前年同期で増加
- 2019年5月に人工心臓弁関連商品の取扱を終了

インターベンション 対前年同期 △14.7%

- PCI*症例の回復が緩やかな中、薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」は拡販により販売数量は増加するも、保険償還価格引下げの影響より売上高は減少
- 消化器領域の自社製品である肝癌治療用ラジオ波焼灼システム「arfa」が2019年12月の販売開始以来、徐々に市場に浸透し売上高が増加

*PCI：経皮的冠動脈形成術

対期首残高 Δ 372百万円



(百万円)

(資料) 品目別売上高 第2四半期累計 (対前年同期)

(百万円)	2020/3月期		2021/3月期				備考
	2Q累計 実績		2Q累計 実績				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	2,471	10.2%	2,995	12.2%	523	21.2%	
ICD関連	2,322	9.6%	3,419	14.0%	1,097	47.2%	
その他 *	129	0.5%	114	0.5%	△ 15	△12.1%	AED含む
リズムデバイス 計	4,924	20.4%	6,529	26.7%	1,605	32.6%	
EPカテーテル *	8,803	36.4%	8,284	33.9%	△ 518	△5.9%	心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル *	684	2.8%	502	2.1%	△ 182	△26.6%	バルーンアブレーション含む
その他 *	2,556	10.6%	2,584	10.6%	27	1.1%	高周波心房中隔穿刺針
EP/ABL 計	12,045	49.8%	11,371	46.5%	△ 673	△5.6%	
人工弁関連	247	1.0%	16	0.1%	△ 230	△93.2%	
人工血管関連 *	4,094	16.9%	4,132	16.9%	38	0.9%	ステントグラフト (胸部・腹部)、オープンステントグラフト含む
血液浄化関連 *	430	1.8%	330	1.4%	△ 100	△23.3%	
その他	18	0.1%	12	0.1%	△ 6	△33.0%	人工肺関連含む
外科関連 計	4,790	19.8%	4,492	18.4%	△ 298	△6.2%	
PCI関連 *	2,051	8.5%	1,701	7.0%	△ 349	△17.0%	貫通用カテーテル、薬剤溶出型冠動脈ステント含む
その他 *	362	1.5%	358	1.5%	△ 4	△1.1%	心房中隔欠損閉鎖器具、大腸ステント、子会社販売商品含む
インターベンション 計	2,413	10.0%	2,059	8.4%	△ 353	△14.7%	
合計	24,173	100.0%	24,453	100.0%	279	1.2%	

*印には自社製品含む

※'21/3よりインターベンションの内訳を変更 ()内は当期実績を旧区分に置き換えた場合の売上高 (単位; 百万円)

旧: バルーンカテーテル (166)、ガイドワイヤー (246)、その他 (1,647) 新: PCI関連、その他

(資料) 品目別売上高 通期 (通期計画)

(百万円)	2020/3月期		2021/3月期				備考
	通期 実績		通期 計画				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	5,682	11.0%	6,178	11.6%	496	8.7%	
ICD関連	5,960	11.5%	7,588	14.3%	1,628	27.3%	
その他 *	223	0.4%	247	0.5%	24	10.8%	AED含む
リズムデバイス 計	11,866	22.9%	14,015	26.3%	2,149	18.1%	
EPカテーテル *	17,915	34.6%	18,023	33.9%	107	0.6%	心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル *	1,421	2.7%	1,338	2.5%	△ 83	△5.9%	バルーンアブレーション含む
その他 *	5,358	10.4%	5,612	10.5%	253	4.7%	高周波心房中隔穿刺針
EP/ABL 計	24,696	47.7%	24,973	46.9%	277	1.1%	
人工弁関連	259	0.5%	6	0.0%	△ 252	△97.3%	
人工血管関連 *	8,879	17.2%	8,627	16.2%	△ 252	△2.8%	ステントグラフト (胸部・腹部) 、オープンステントグラフト含む
血液浄化関連 *	994	1.9%	912	1.7%	△ 81	△8.2%	
その他	32	0.1%	17	0.0%	△ 14	△45.7%	人工肺関連含む
外科関連 計	10,166	19.6%	9,565	18.0%	△ 601	△5.9%	
PCI関連 *	4,234	8.2%	3,881	7.3%	△ 353	△8.3%	貫通用カテーテル、薬剤溶出型冠動脈ステント含む
その他 *	797	1.5%	790	1.5%	△ 7	△0.9%	心房中隔欠損閉鎖器具、大腸ステント、子会社販売商品含む
インターベンション 計	5,032	9.7%	4,672	8.8%	△ 360	△7.2%	
合計	51,761	100.0%	53,226	100.0%	1,464	2.8%	

*印には自社製品含む

※'21/3よりインターベンションの内訳を変更 () 内は当期計画を旧区分に置き換えた場合の売上高 (単位; 百万円)

旧: バルーンカテーテル (387) 、ガイドワイヤー (585) 、その他 (3,700) 新: PCI関連、その他

(資料) 連結損益計算書 第2四半期累計 (対前年同期)

(百万円)	2020/3月期		2021/3月期			
	2Q累計 実績		2Q累計 実績			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	24,173	100.0%	24,453	100.0%	279	1.2%
売上原価	10,340	42.8%	10,967	44.8%	626	6.1%
売上総利益	13,833	57.2%	13,485	55.2%	△ 347	△2.5%
販管費及び一般管理費	8,981	37.2%	9,116	37.3%	135	1.5%
営業利益	4,851	20.1%	4,369	17.9%	△ 482	△10.0%
営業外収益	484	2.0%	431	1.8%	△ 52	△10.9%
営業外費用	494	2.0%	788	3.2%	293	59.5%
経常利益	4,841	20.0%	4,012	16.4%	△ 829	△17.1%
特別利益	1	0.0%	0	0.0%	△0	△65.0%
特別損失	1	0.0%	5	0.0%	4	395.2%
税引前利益	4,841	20.0%	4,007	16.4%	△ 834	△17.2%
税金費用	1,286	5.3%	1,223	5.0%	△ 63	△5.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,555	14.7%	2,784	11.4%	△ 770	△21.7%

(資料) 連結損益計算書 通期 (通期計画)

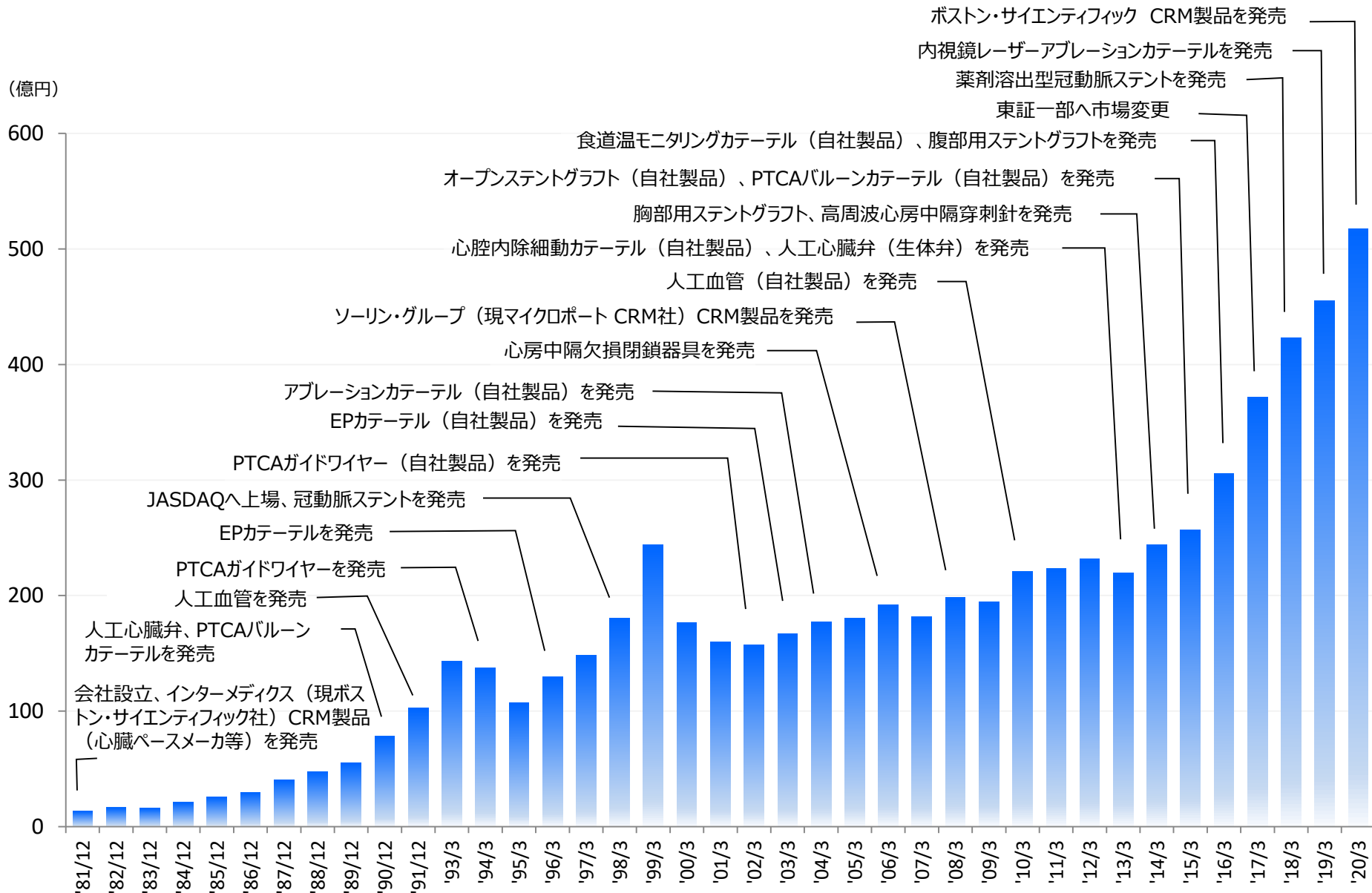
(百万円)	2020/3月期		2021/3月期			
	通期 実績		通期 計画			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	51,761	100.0%	53,226	100.0%	1,464	2.8%
売上原価	22,570	43.6%	23,938	45.0%	1,368	6.1%
売上総利益	29,191	56.4%	29,287	55.0%	96	0.3%
販管費及び一般管理費	18,756	36.2%	19,286	36.2%	529	2.8%
営業利益	10,434	20.2%	10,001	18.8%	△ 433	△4.2%
営業外収益	891	1.7%	662	1.2%	△ 228	△25.6%
営業外費用	900	1.7%	782	1.5%	△ 118	△13.1%
経常利益	10,425	20.1%	9,882	18.6%	△ 543	△5.2%
特別利益	3	0.0%	7	0.0%	3	103.4%
特別損失	4	0.0%	20	0.0%	16	389.8%
税引前利益	10,425	20.1%	9,869	18.5%	△ 556	△5.3%
税金費用	2,676	5.2%	3,041	5.7%	364	13.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,748	15.0%	6,827	12.8%	△ 921	△11.9%

会社概要



商号	日本ライフライン株式会社
代表者	代表取締役社長 鈴木啓介
本社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲オーシャンスクエア
設立	1981年2月6日
株式	東証一部上場
証券コード	7575
事業内容	医療用機器の製造、販売、輸出および輸入販売
資本金	2,115百万円
決算期	3月31日
従業員数	連結1,145名/単体1,006名（2020年9月30日 現在）
事業所	営業拠点48ヶ所、羽田ロジスティクスセンター、関西ロジスティクスセンター、研究開発統括部、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、市原ファクトリー、天王洲ACCADEMIA（研修センター） （2020年9月30日 現在）
連結子会社	SYNEXMED（HONG KONG）LTD.、心宜医療器械（深圳）有限公司、JLL Malaysia Sdn.Bhd.

当社沿革と売上高推移



当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムデバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンションの4つに大別されます。

リズムデバイス

不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなる、または早くなる状態）を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。

リズムデバイス

心臓ペースメーカー
ICD
CRT-P
CRT-D
AED

外科関連

本来の機能が失われてしまった血管を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。

EP/アブレーション

EPカテーテル
アブレーションカテーテル
心腔内除細動カテーテル
高周波心房中隔穿刺針
内視鏡レーザーアブレーションカテーテル

心臓循環器

外科関連

人工血管
オープンステントグラフト
ステントグラフト
血液浄化関連

EP/アブレーション

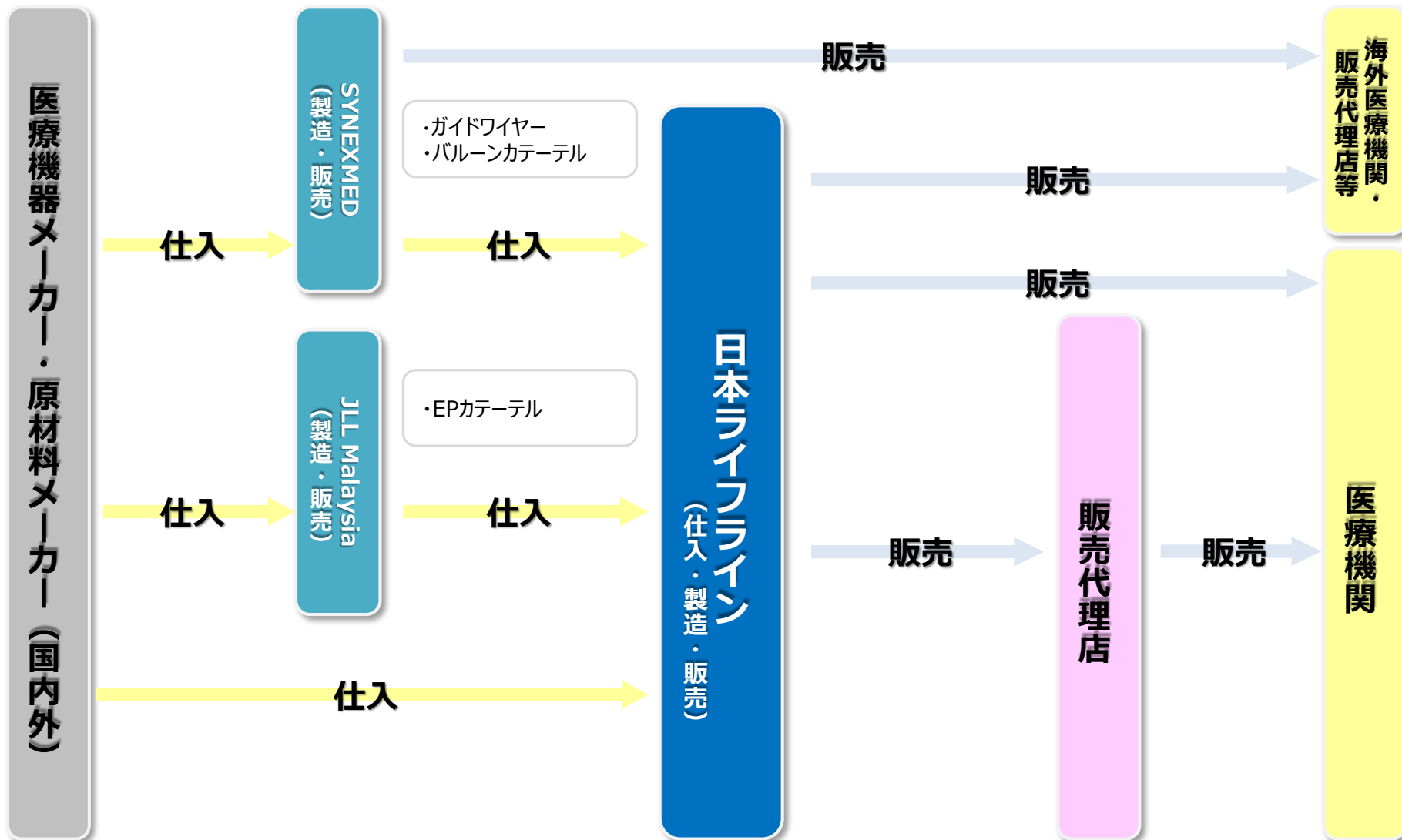
不整脈の検査や治療を行うための、ディスプレイ式電極のついたカテーテル（細い管）を扱います。

インターベンション

ガイドワイヤー
バルーンカテーテル
心房中隔欠損閉鎖器具
薬剤溶出型冠動脈ステント

インターベンション

カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者様への負担が小さい治療法です。



心臓ペースメーカ

(Boston Scientific社製)



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓の拍動が異常に早まる不整脈（頻脈）のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

ICD（植込み型除細動器）

(Boston Scientific社製)



CRT-P（両心室心臓ペースメーカ）

(Boston Scientific社製)



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。

S-ICD（完全皮下植込み型除細動器）

(Boston Scientific社製)



従来のICDは静脈を介し心臓内にリードを留置するのに対し、S-ICDは全てのシステムを皮下に植込むことで血管内や心臓へ異物が留置されません。

CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）

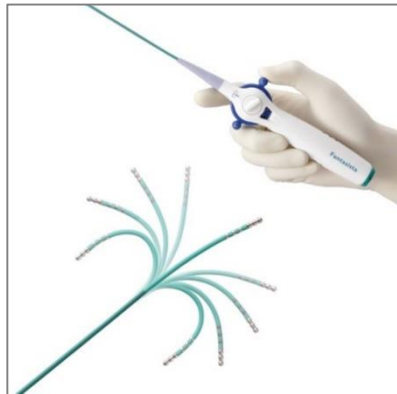
(Boston Scientific社製)



両心室心臓ペースメーカの機能に加え除細動機能も有しており、致死性の不整脈の発生時は、本体から電気刺激を心臓内に与え治療を行います。

アブレーションカテーテル

(自社製品)



頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることで治療します。

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

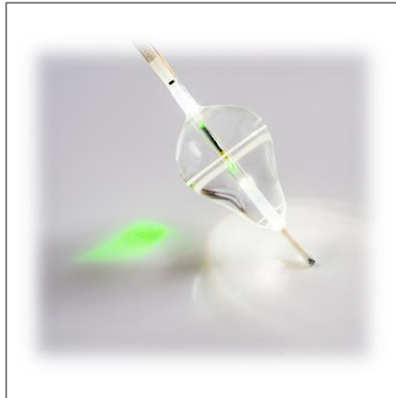
心腔内除細動カテーテル

(自社製品)



アブレーション治療の際に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことにより、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。

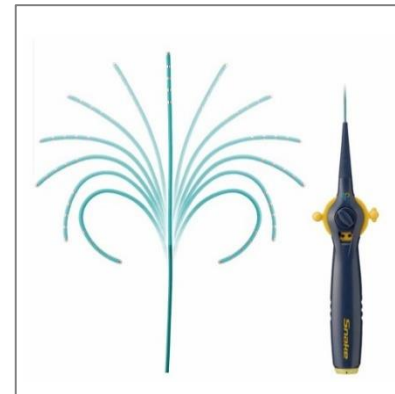
内視鏡レーザーアブレーションカテーテル (CardioFocus社製)



バルーン内部からレーザーを照射し、頻脈の原因となる部位を焼き切り治療します。カテーテル内部の内視鏡により、正確な留置および焼灼が可能です。

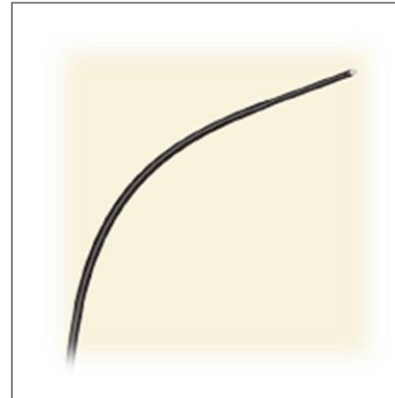
EP (電気生理用) カテーテル

(自社製品)



高周波心房中隔穿刺針

(BAYLIS MEDICAL社製)



アブレーション治療などの際に、左右の心房の間にある壁（心房中隔）に、カテーテルを通すための穴を高周波により開ける際に使用します。

人工血管

(自社製品)



開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。

大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に大動脈瘤の治療を行います。

オープンステントグラフト

(自社製品)



ステントグラフト

(ENDOLOGIX社製)



外科手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。

急性血液浄化療法に用いられる医療機器であり、血液から有毒な物質などを除去することで治療します。

血液浄化装置

(自社製品)



バルーンカテーテル

(自社製品)



心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

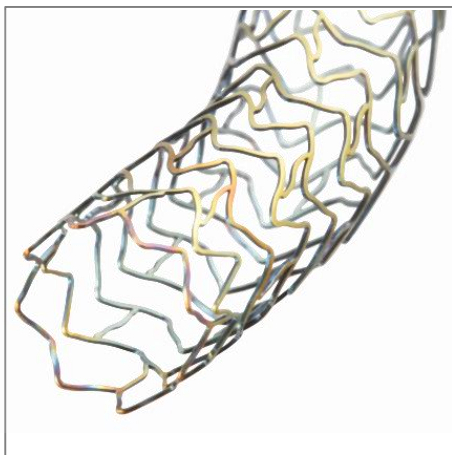
ガイドワイヤー

(自社製品)



薬剤溶出型冠動脈ステント

(BIOTRONIK社製)



血管の詰まった部分を風船（バルーン）で拡張させた後に留置し、再び詰まるのを防ぎます。また塗布された薬剤も再発防止に効果があります。

先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患（心房中隔欠損症）を、外科手術を行うことなくカテーテルを用いて閉鎖栓という円盤状の器具で塞ぎ治療します。

心房中隔欠損閉鎖器具

(Occlutech社製)



研究開発

研究開発統括部 (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park North Square



(2018/04~)

中核工場

戸田ファクトリー (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park South Square



(2012/01~)

量産対応

小山ファクトリー (栃木県小山市)



(2014/10~)

血管・OSGの開発・生産

市原ファクトリー (千葉県市原市)



(2011/01~)

海外工場 ①

シンセン工場 (中国深圳市)

心宜医療器械(深圳)有限公司



(2010/10~)

海外工場 ②

マレーシア工場 (マレーシアパナン州)

JLL Malaysia Sdn.Bhd.



(2020/06~)

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に係る、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営戦略室
TEL:03-6711-5214
E-Mail:ir@jll.co.jp
URL:<https://www.jll.co.jp>